

平壤にめぐみさんと個人情報一致の女性

# 政府 1年前に情報確認

## 同一人物確定に至らず

北朝鮮当局が2005年に作成したとされる住民情報資料を日本政府が約1年前に入手し、拉致被害者の横田めぐみさんと生年月日や家族の名前が一致する女性がいると確認していたことが分かった。捜査当局などがめぐみさん生存につながる情報なのか分析しているが、同一人物と確定するには至っていないという。北朝鮮に拉致再調査を求める根拠として日朝協議再開を働き掛ける考

日本人とみられる住民情報はこの女性のほか、85人分あり、多くは戦後の在日朝鮮人の帰還事業で渡航した日本人妻とみられるが、政府関係者は一部は拉致被害者の可能性も排除できないとしている。住民資料は先に韓国誌「週刊朝鮮」が入手したものと同一とみられ、政府は外交ルートを通じてデータの提供を求めている。

日本政府の入手資料は、北朝鮮の公安機関、国家安全保衛部作成とされる平壤在住の17歳以上の電子情報。入手後の解析作業でデータに改ざんはないと確認しており、情報の信ぴょう性は高いと判断している。政府関係者は入手法や合計で何人分あるかは明らかにしていない。

女性は「ハン・ソンエ」という名前で、めぐみさんと同じ1964年10月5日生まれ。夫は「キム・ヨンナム」と記され、めぐみさんの夫だった韓国人拉致被害者、金英男氏とハンゲル表記が一致。めぐみさんの娘キム・ウンギョン（ヘギョン）さんと同じ87年生まれで同姓同名の女性も同じ住所で登録されていた。

という名前で、めぐみさんと同じ1964年10月5日生まれ。夫は「キム・ヨンナム」と記され、めぐみさんの夫だった韓国人拉致被害者、金英男氏とハンゲル表記が一致。めぐみさんの娘キム・ウンギョン（ヘギョン）さんと同じ87年生まれで同姓同名の女性も同じ住所で登録されていた。

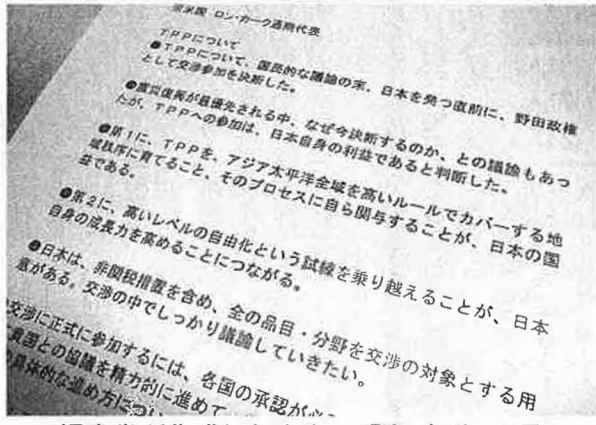
### TPP交渉参加

# 首相表明前に「決断」文書

## 経産省作成 慎重派議員が批判

環太平洋連携協定（TPP）をめぐる、野田佳彦首相が参加方針を表

明する直前、経済産業省が「国民的議論の末、文書を作成していたこと」が判明、17日、衆院議員の勉強会で批判が相次いだ。



経産省が作成した文書。「全(て)の品目・分野を交渉の対象とする用意がある」との文言もある

経産省は勉強会で①作成時に結論が出ていなかったのでさまざまな可能性を文書にしていた②枝野幸男経産相の手持ち資料で米国には渡していないと釈明。経産相は米ハワイで開かれたアジア太平洋経済協力会議(APEC)へ向かう機上で文書を読み、民放の番組に映し出されていた。慎重派の多い東北の議員は一斉に反発した。民

とをやるのか」と批判。京野公子氏(同秋田3区)も「最終文書ではないと言つたら、経産相が会議に用いた文書を公開するべきだ」と迫った。

首相が日米首脳会談で例外なき貿易自由化に言及したと米国が発表していることにも矛先が向けられ、「これからタフな交渉があるのに入り口で大きくつまづいてる」(石山敬貴衆院議員、宮城4区)という声も出た。経産省の文書にはこの点も書き込まれていた。

舟山康江氏(参院山形選挙区)は勉強会後に記者会見し「文書の記述と異なり、首相が首脳会談で抑制した表現をしたのなら、米国に訂正を求めるべきだ」と指摘した。